muratataboringgiken

90

NEWSLETTER

社内に関するニュースレター

2025年
12月18日(金)
writing　浜島

3回目の東北研修を10名で
課長・係長研修で福島原発を見学

福島第一原子力発電所の前で
（※写真提供：東京電力ホールディングス）

東京電力廃炉資料館にて

12/16(火)-17(水)の２日間、課長・係長研修の一環として、東北の被災地（宮城県・福島県）を10名で訪問しました。１日目は宮城県名取市にある閖上（ゆりあげ）地区を訪問。8.4mの津波を受け、当時5,000人いた市民の避難が遅れ、756名がお亡くなりになった場所を視察・慰霊をしました。続いて、仙台空港の横にあった松林が、津波で流されてしまった場所に行きました。地元の造園業を営む田中秀穂さん(84)が、「元のような1000年続く松林を復活させたい」と、13年前にクロマツの苗をこの地に植樹。その木が7、8mとなり、さらに40mの大木になるために、からみついたツルを除去するお手伝いをしました。

翌17日は福島第一原発を視察。3.11の際、津波で非常用電源を喪失し、水蒸気爆発をした福島原発１～４号機を視察。わずか100m先で見る原発では、現在も4,000人の方々が廃炉作業を行なっている様子を視察しました。その後、除染した土を保管する中間貯蔵施設も視察しました。今から14年前の東日本大震災の爪痕と、復興にかける想い学びました。

名取市閖上（ゆりあげ）

津波で流された松林の復興ボランティア